

診断と治療〔第114巻・第6号〕特集予告

〔どうみる？ 多疾患併存 マルチモビディティへのアプローチ〕

◆マルチモビディティの全体像をつかむ

- マルチモビディティとは何か―定義, 注目される背景―……………大 浦 誠
 マルチモビディティをどう評価するか
 ―よくみられる疾患クラスター・パターン―……………官 澤 洋 平
 マルチモビディティをどう評価するか
 ―老年医学的アプローチとしてのGeriatric 5Ms―……………山 本 浩 一

◆マルチモビディティにどう対応するか

- マルチモビディティに対する介入……………中 野 弘 康
 マルチモビディティを「複雑性」と捉えて対処する……………宮 田 靖 志
 診療ガイドラインとマルチモビディティ……………沖 中 郁 実, 他

◆臓器横断的にみるマルチモビディティ診療

- 内分泌・代謝疾患からみるマルチモビディティ―糖尿病を例に―……………水 谷 肇, 他
 心血管疾患からみるマルチモビディティ……………小 野 雅 敬
 呼吸器疾患からみるマルチモビディティ……………江 原 淳
 精神疾患を抱える患者のマルチモビディティを考える
 ―アルコール依存症の症例から―……………池 本 正 平
 痛み・運動器系疾患とマルチモビディティ……………水 野 泰 行

◆マルチモビディティにおける多職種連携・制度・研究

- 多職種連携の取り組み……………星 利 佳
 ポリファーマシーと薬剤適正化……………北 和 也
 ポリドクターへの対応……………安 藤 崇 之
 地域医療とマルチモビディティ……………木 島 朋 子
 マルチモビディティ研究の現状と展望……………青 木 拓 也